

学生時代に一番力を入れたこと

私が学生時代に最も打ち込んだことは社会調査です。半年間留学していたマレーシアでは、現地環境を存分に活かせるテーマにしたいと思い「葬儀を通して考えるイスラム教の死生観」というテーマで研究しました。日本で手法は学んでいたものの、実際に現地へ行くと価値観・言語・宗教の壁があり、知識だけではスムーズに調査を進めることが難しい状況でした。そのためまずは相手の文化を尊重することを心がけ、現地のコミュニティに入れるよう積極的にコミュニケーションを取りました。その結果、一人ひとりのインタビューは元より、そこからSNSで繋がりを広げて、イスラム教の土葬をする際に必要となる道具を販売している会社へインタビューをしたり、許可を得てお墓を訪れたり、現地でしか得られない情報を元に研究をまとめることができました。この経験から、困難な状況においては現状を分析し何をすべきか考え、それを行動に移すことの大切さを学びました。



履修PRを活用して修正

私が最も打ち込んだことは大学生活を充実させることです。課外活動では半年間留学していたマレーシアで「葬儀を通して考えるイスラム教の死生観」というテーマで研究しました。日本で手法は学んでいたものの、実際に現地へ行くと価値観・言語・宗教の壁があり、知識だけではスムーズに調査を進めることが難しい状況でした。そのためまずは相手の文化を尊重することを心がけ、現地のコミュニティに入れるよう積極的にコミュニケーションを取りました。その結果、一人ひとりのインタビューからSNSで繋がりを広げて、土葬をする際に必要となる道具を販売している会社へインタビューや、許可を得てお墓を訪れたりなど、現地でしか得られない情報を元に研究をまとめることができました。一方学業では、基本的にはすべての授業に出て、少しでも吸収できることはしようと考えました。結果的にはGPAは3.5で、私の知っている限りではクラスで5番以内程度の結果だと思います。